

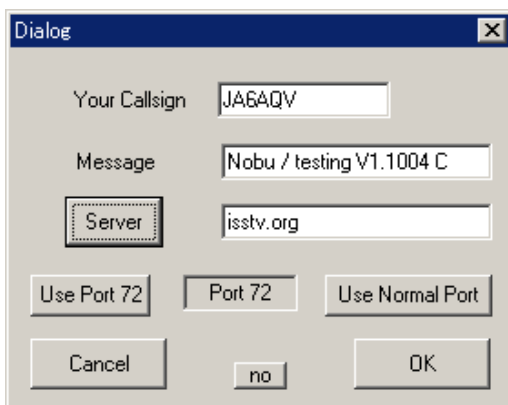
「ISSTV V1.1004 C」 (2003.02.16)



- ・ TCP が開くように、あなたのポートを確実に「27222」にしてください。
- ・ 「MMSSTV」の オプションで、「受信」を「VIS -ONLY」に設定してください。
- ・ 「スラントの調整」を確認してください。

\* オンライン「ISSTV」は誰にしますか？

- ・ Directory Server : ディレクトリサーバー  
「isstv.org」・「www.chmail.org」あるいは「isstv.2e1ehm.co.uk」をディレクトリサーバーとして選んでください。
- ・ サーバーの設定は、「Settings：設定」->「Callsign + Server」をクリックして変更します。  
名前を「Server Name」枠に「名前」を記入してください。



\* File Send Setting Help : ファイル送信設定のヘルプ

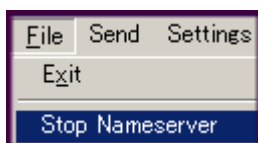
- ・ リンク以外をクリックしても画像が受信できない : 「HTTP-PROXI'S」を探してください。
- ・ win98 で画像が送れない ( ホスト名エラーがでる ) : 「winsock2」にアップデートしてください。

### \* 「画面に表示されたボタン」

- ・ From ( から ) : 受信された画像は、どこから来たものか。
- ・ To ( へ ) : 画像をどこ宛に送るか。
  - ( ・ Last Inet : インターネットからの最後の受信画像を表示します。)
  - ( ・ Last RF : 無線からの最後の受信画像を表示します。)(もし、無いときは「テスト画像」を表示します)
- ・ 「Abort RF TX」: 「RF」での送信を中止します。
- ・ 「SEND RF」: 「RF」で送信する。
- ・ 「Refresh Server」: リフレッシュサーバー: 例; 「Online Calls」ウインドウを更新します。
  
- ・ 「RX」 : 受信。「RX」モードで画像を受信します。  
それらは、「サムネイル」に表示されますので、見ることができます。
- ・ 「TX」 : 送信。「TX」モードで「SELECT: 選択」ボタンが表示されます。  
「ACTIVE」(稼働)のためボタンをクリックし、「LOAD」ボタンをクリックして、「bmp」画像のディレクトリーを選びます。  
「OPEN」を押すと画像が「サムネイル」に表示されます。  
送信したい「画像」をダブルクリックしてから、「SEND」をクリックします。
- ・ 「TEMP」 : 動作中の一時的なボタン。
  
- ・ 「SAVE」 : 画像をセーブします。
- ・ 「COPY」 : 画像をコピーします。
- ・ 「TmpTxt」 : 「Enter Text」ダイアログが開き、  
60文字までのテキストの書き込み、  
5種のサイズ、カラーミックスができます。  
「OK」で送信画面に枠が表示され、  
左クリックで固定します。
- ・ 「SEND」 送信 : 「SEND」ボタンを押すと、  
あなたが選んだ人にあなたの画像を送ります。
- ・ 「LOAD」ロード: ロードとは画像を読み込むことを意味します。
- ・ 「PASTE」ペースト : (コピーした)画像を貼り付けします。  
「Paste」ボタンは、「ACDsee」のようなプログラムとか「サムネイル」の代わりに使えます。
- ・ 「CLEAR」 : アクティブな画像をクリアーします。

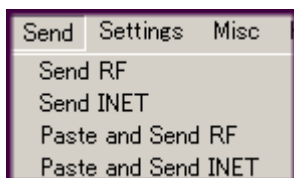


### \* 「FILE」



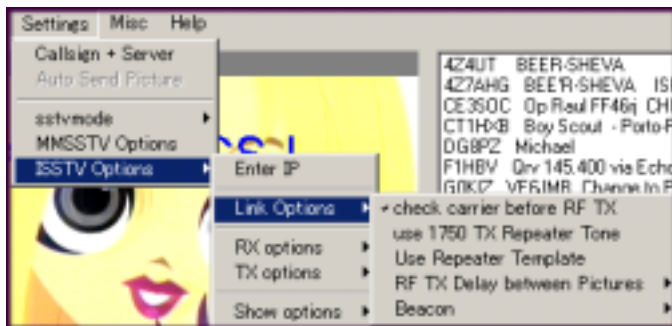
- ・ Exit : プログラムを終わる。
- ・ Stop Nameserver : ネームサーバーを中止する。(サーバー枠をクリアー)

### \* 「SEND」



- ・ Send RF : RFで送信する。
- ・ Send INET : インターネットで送信する。
- ・ 「Paste and Send RF」: 貼り付けてRFで送信します。  
インターネット経由でペーストバッファの画像を送ります。  
ペーストバッファに画像をコピーするには、画像を「右クリック」してから、「copy」を選択します。そして「PASTE + SEND RF」ボタンを押します。  
画像は、「320x256」ピクセルに拡張されます。そして送信されます。
- ・ 「Paste and Send INET」: インターネット経由でペーストバッファの画像を送ります。  
ペーストバッファに画像をコピーするには、画像を「右クリックしてから、「copy」を選択します。  
「PASTE and SEND INET」ボタンを押します。画像は、「320x256」ピクセルに拡張され送信されます。

\* 「Settings」



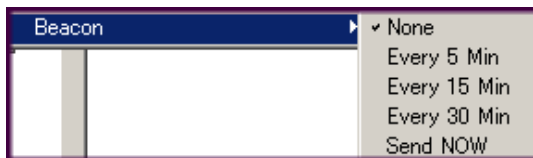
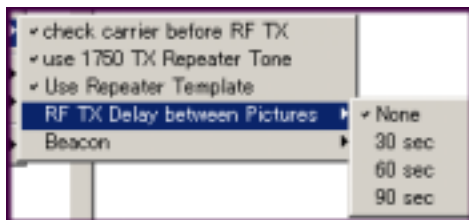
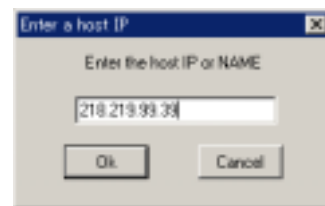
- Callsign + Server : ( 前述 )
- Auto Send Picture : 画像の自動送信。
- sstvmode : RF で送受信する SSTV モードセット。
- MMSSTV Options : MMSSTV エンジンのオプション画面を開く。
- ISSTV Options : ISSTV オプション設定ダイアログを開く。
- Enter IP :

ホスト IP または名前 ( Call ) を記入する。

( 指定すると、自動的に変更される )

• Link Options リンクオプション :

- check carrier before RF TX : RF 送信の前にキャリアをチェック。
- use 1750 TX Repeater Tone : 1750 の TX レピータートーンの使用。
- Use Repeater Template : レピーターテンプレートの使用
- RF TX Delay between Picture : RF TX で画像送信の間隔を ( 秒 ) でセット
- Beacon : ビーコン送信間隔を ( 分 ) でセット。



\* 「Use Template」: テンプレートを使う。

送信するために、画像と選択した「イメージ」ファイルとを混合します。

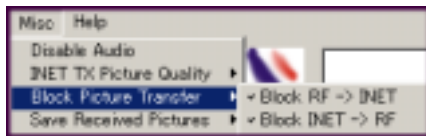
テンプレートの「白色」部分は「透明」になります。

「白色」以外の部分が「送信画像」に現れます。

送信する全ての画像に「コールサイン」や「QTH」をコピーするのに有用です。

- RX Options
  - Auto respond to IP : 自動的に IP に応答する。
  - Accept all : すべてを受信する。
- TX Options
  - Send to Recent : 最新の局宛に送信する。
  - Send to All : すべての局に送信する。
- Show Options
  - Show IP : 「From・To」の枠内に IP で表示する。
  - Show Callsign : 「From・To」の枠内にコールサインで表示する。

• 「Misc」



- Disable Audio : 音声を使わない。
- INET TX Picture Quality : インターネット送信画像の質。  
「Low ( fast )」・「Nomal」・「High ( slow )」

\* Block Picture Transfer : 画像送信のブロック

- 「Block RF->INET」: 「RF」で受信された画像を「インターネット」で送るのを止めます( 送りません )。
- 「Block INET->RF」: 「インターネット」で受信した画像を「RF」で送るのを止めます( 送りません )。

- \* Save Received Picture : 受信画像のセーブ
  - as BMP : BMP フォーマットで。
  - as JPG : JPG フォーマットで。



- 「INET」:
  - (左)「TX」: インターネット経由で送信される「送信」の状態です。
  - (右)「RX」: インターネット経由で受信された「受信」の状態です。
    - ready : 準備OK
    - Idle : アイドリング(空転)中
- 「RF」 : 送信・受信される「RF」の状態です。
- 「RF Level」 : 現在の「RF入力音声レベル」を表示します。
- 「Info」インフォメーション : 種々の情報が表示されます。
  - Send File failed : ファイル送信に失敗。
  - Sent File : ファイル送信終了。
  - 68.14.6.143 . etc : IP など。